



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月4日

上場会社名 株式会社G S I クレオス 上場取引所 東  
 コード番号 8101 URL https://www.gsi.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 吉永 直明  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 小野 国広 TEL 03-5211-1802  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト等向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	60,508	15.0	1,123	△6.5	1,281	6.2	909	△2.7
2022年3月期第2四半期	52,595	—	1,201	△47.8	1,207	△46.4	935	△20.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,788百万円 (△10.8%) 2022年3月期第2四半期 2,005百万円 (△52.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	74.21	—
2022年3月期第2四半期	75.51	—

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。上記の2022年3月期第2四半期は当該会計基準等を適用した後の数値となっており、2022年3月期第2四半期の売上高の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	68,746	25,509	37.1
2022年3月期	60,929	24,512	40.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 25,509百万円 2022年3月期 24,512百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,000	4.6	2,400	19.5	2,400	27.5	1,700	3.8	138.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	12,629,942株	2022年3月期	12,629,942株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	367,297株	2022年3月期	373,684株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	12,258,968株	2022年3月期2Q	12,383,076株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
3. (参考) 海外売上高 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が期待されていたものの、新型コロナウイルス感染症の第7波の発生に加え、急激な物価高騰の影響を受けて再び個人消費の回復に陰りが見え始めてきました。世界経済におきましても、欧米州を中心に緩やかな回復傾向にあるものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化・緊迫化、原材料価格の高騰、急激な為替変動や金融の引き締めなどにより、先行き不透明な状況が続きました。

こうした中、当社は企業理念の上位概念となるパーパス「次代の生活品質を高める 事業の創造者として 人びとの幸せを実現する」を新たに定め、グループ一体となりサステナブル事業分野を中心とする高付加価値事業の展開に注力するとともに、海外取引においては収益の確保に努め、国内取引においては原価高騰分の価格調整に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、前年同期比7,912百万円、15.0%増収の60,508百万円となり、売上総利益は、前年同期比318百万円、4.9%増益の6,868百万円となりました。営業利益は、前年同期比78百万円、6.5%減益の1,123百万円となり、経常利益は、前年同期比74百万円、6.2%増益の1,281百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比25百万円、2.7%減益の909百万円となりました。

## ②セグメント別の状況

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、「2. (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より報告セグメント等の変更を行っており、以下の前年同四半期連結累計期間比較につきましては、前年同四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## &lt;ファイバー&gt;

アジアにおけるインナー用機能糸・生地取引は前年並みに推移しましたが、売上高は、海外売上高が為替変動により増加したことから、前年同期比11.3%増収の30,386百万円となりました。営業利益は、原材料価格の高騰への対応に時間を要し、前年同期比69.1%減益の50百万円となりました。

## &lt;アウター&gt;

製品のOEM・ODM取引や欧米アパレル向け生地輸出取引が個人消費の持ち直しを背景に増加したことから、売上高は前年同期比37.5%増収の8,097百万円となり、営業利益は前年同期比125.6%増益の416百万円となりました。

## &lt;インナー&gt;

個人消費の持ち直しを背景に、売上高は前年同期比7.9%増収の5,873百万円と回復基調にありましたが、利益面では、原材料価格の高騰や急激な円安の影響を吸収しきれず、138百万円の営業損失(前年同期は135百万円の営業利益)となりました。

## &lt;セミコンダクター&gt;

堅調に推移した世界の半導体需要を背景に、半導体関連部材の取引が好調に推移しました。また、前期に連結子会社化したGSI Creos Technology (China) Co., Ltd.も寄与したことから、売上高は前年同期比37.3%増収の5,384百万円となり、営業利益は前年同期比77.6%増益の489百万円となりました。

## &lt;ケミカル&gt;

機能性樹脂・フィルムの取引が国内の需要増を背景に伸長し、塗料原料の取引が海外の需要を取り込み堅調に推移したことから、売上高は前年同期比15.5%増収の5,975百万円となり、営業利益は前年同期比5.5%増益の307百万円となりました。

## &lt;ホビー&amp;ライフ&gt;

ホビー関連の取引が、巣ごもり需要が一服したことに加えて中国ロックダウンの影響により減少したことから、売上高は前年同期比19.0%減収の2,466百万円となり、営業利益は前年同期比26.6%減益の287百万円となりました。

## &lt;マシナリー&amp;イクイップメント&gt;

複合材関連の機械および部品の取引が増加したことから、売上高は前年同期比27.1%増収の2,323百万円となり、営業利益は5百万円(前年同期は6百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、売上債権の増加などにより、前期末比7,816百万円増加の68,746百万円となりました。

負債は、仕入債務の増加などにより、前期末比6,820百万円増加の43,236百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加などにより、前期末比996百万円増加の25,509百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは1,364百万円の支出（前年同期は3,810百万円の支出）となりました。主な要因は売上債権の増加などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは266百万円の収入（前年同期は481百万円の収入）となりました。主な要因は貸付金の回収による収入などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは1,266百万円の収入（前年同期は841百万円の支出）となりました。主な要因は短期借入金の増加などによるものです。

これらに、換算差額160百万円を加味した結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前期末比329百万円増加の8,407百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表しました2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,078	8,407
受取手形	1,649	1,592
電子記録債権	1,989	2,087
売掛金	24,703	32,338
商品及び製品	8,960	8,899
仕掛品	677	918
原材料	121	163
その他	2,960	2,358
貸倒引当金	△175	△189
流動資産合計	48,963	56,577
固定資産		
有形固定資産	3,659	3,876
無形固定資産	736	701
投資その他の資産		
投資有価証券	5,716	5,458
その他	1,853	2,131
投資その他の資産合計	7,570	7,590
固定資産合計	11,965	12,168
資産合計	60,929	68,746
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,514	22,832
短期借入金	10,919	13,350
1年内返済予定の長期借入金	90	92
未払法人税等	123	260
引当金	512	476
その他	4,078	3,868
流動負債合計	34,239	40,879
固定負債		
長期借入金	1,236	1,189
退職給付に係る負債	76	82
その他	864	1,085
固定負債合計	2,177	2,356
負債合計	36,416	43,236
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	855	855
利益剰余金	14,405	14,518
自己株式	△291	△287
株主資本合計	22,154	22,272
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,926	1,682
繰延ヘッジ損益	17	104
為替換算調整勘定	295	1,345
退職給付に係る調整累計額	119	105
その他の包括利益累計額合計	2,358	3,237
純資産合計	24,512	25,509
負債純資産合計	60,929	68,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	52,595	60,508
売上原価	46,045	53,639
売上総利益	6,549	6,868
販売費及び一般管理費	5,348	5,745
営業利益	1,201	1,123
営業外収益		
受取利息	29	20
受取配当金	46	56
持分法による投資利益	12	178
その他	54	110
営業外収益合計	142	366
営業外費用		
支払利息	60	73
為替差損	48	77
持分法による投資損失	11	40
その他	16	16
営業外費用合計	137	208
経常利益	1,207	1,281
特別利益		
固定資産売却益	0	-
投資有価証券売却益	30	-
出資金売却益	45	-
特別利益合計	76	-
特別損失		
固定資産除却損	1	1
関係会社株式売却損	27	-
特別損失合計	29	1
税金等調整前四半期純利益	1,254	1,280
法人税、住民税及び事業税	379	314
法人税等調整額	△59	55
法人税等合計	319	370
四半期純利益	935	909
親会社株主に帰属する四半期純利益	935	909

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	935	909
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	640	△244
繰延ヘッジ損益	5	86
為替換算調整勘定	431	1,050
退職給付に係る調整額	△6	△14
その他の包括利益合計	1,070	878
四半期包括利益	2,005	1,788
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,005	1,788

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,254	1,280
減価償却費	156	185
のれん償却額	-	42
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13	△13
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△11	△19
受取利息及び受取配当金	△75	△77
支払利息	60	73
為替差損益 (△は益)	2	5
有形固定資産除却損	1	1
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	△30	-
関係会社株式売却損益 (△は益)	27	-
出資金売却益	△45	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,444	△4,735
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△72	△15
その他の資産の増減額 (△は増加)	△886	274
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13	2,488
その他の負債の増減額 (△は減少)	150	△630
その他	△542	△49
小計	△2,483	△1,188
利息及び配当金の受取額	77	84
利息の支払額	△60	△73
法人税等の支払額	△1,344	△186
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,810	△1,364
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△35	△11
有形固定資産の売却による収入	0	-
投資有価証券の取得による支出	△97	△95
投資有価証券の売却による収入	60	-
出資金の売却による収入	82	-
出資金の払込による支出	-	△25
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	572	-
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の取得による支出	△124	-
貸付けによる支出	-	△41
貸付金の回収による収入	13	481
その他	9	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	481	266
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△66	2,112
長期借入金の返済による支出	△51	△45
セール・アンド・リースバックによる収入	-	96
リース債務の返済による支出	△44	△100
自己株式の取得による支出	△302	△0
配当金の支払額	△376	△796
財務活動によるキャッシュ・フロー	△841	1,266
現金及び現金同等物に係る換算差額	274	160
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,896	329
現金及び現金同等物の期首残高	14,594	8,078
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,698	8,407

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税ならびに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(本社移転の件)

当社は2022年4月22日開催の取締役会において、本社を移転することを決議いたしました。本店移転の概要につきましては以下のとおりであります。

1. 新本店所在地

東京都港区

2. 移転時期

2022年12月(予定)

3. 移転目的

中期経営計画“GSI CONNECT 2024”に掲げた重点施策の一つである、「人材の充実と新しい働き方の推進」の一環としてオフィス環境を整えることならびに本社機能の拡充および業務効率の改善を図るため。

4. 2023年3月期の業績に与える影響

本店移転に伴い発生する費用として175百万円を計上する見込みであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ファイバー	アウター	インナー	セミコンダ クター	ケミカル	ホビー& ライフ	マシナリー &イクイッ プメント	計		
売上高										
外部顧客への売 上高	27,294	5,888	5,441	3,921	5,173	3,047	1,828	52,595	—	52,595
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	4	6	—	11	△11	—
計	27,294	5,888	5,441	3,921	5,178	3,054	1,828	52,606	△11	52,595
セグメント利益	162	184	135	275	291	391	△6	1,435	△233	1,201

(注) 1 セグメント利益の調整額△233百万円には、セグメント間取引消去69百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△303百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、「ホビー&ライフ」を構成していた大三紙化学工業株式会社の当社持分の85%を譲渡し、連結の範囲から除外したことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ホビー&ライフ」のセグメント資産が1,203百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「セミコンダクター」において、当第2四半期連結会計期間よりGSI Creos Technology (China) Co.,Ltd.の連結子会社化に伴い、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては435百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ファイバー	アウター	インナー	セミコンダ クター	ケミカル	ホビー& ライフ	マシナリー &イクイッ プメント	計		
売上高										
外部顧客への売上高	30,386	8,097	5,873	5,384	5,975	2,466	2,323	60,508	—	60,508
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	6	—	18	0	2	15	48	91	△91	—
計	30,393	8,097	5,891	5,384	5,978	2,482	2,371	60,599	△91	60,508
セグメント利益	50	416	△138	489	307	287	5	1,419	△296	1,123

(注) 1 セグメント利益の調整額△296百万円には、セグメント間取引消去58百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△354百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来の「繊維関連事業」を「ファイバー」「アウター」「インナー」に分割し、「工業製品関連事業」を「セミコンダクター」「ケミカル」「ホビー&ライフ」「マシナリー&イクイップメント」に分割することで、第1四半期連結会計期間より2区分から7区分の報告セグメントに変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法にもとづき作成したものを記載しております。

3. (参考) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日) (単位:百万円)

	アジア	米州	その他	計
I 海外売上高	25,382	4,325	1,743	31,451
II 連結売上高				52,595
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	48.3	8.2	3.3	59.8

当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日) (単位:百万円)

	アジア	米州	その他	計
I 海外売上高	29,873	5,114	2,412	37,400
II 連結売上高				60,508
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	49.4	8.5	4.0	61.8

(注) (1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域は以下のとおりであります。

アジア・・・・・・中国、香港

米州・・・・・・アメリカ、ブラジル

その他・・・・・・欧州

(3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。